
特定非営利活動法人独立映画鍋

2017年度 事業報告

1、事業実施の報告

2017年度も、設立当初から継続されているクラウドファンディングのサポートや、映画製作や上映、行政にまつわる勉強会を通じて映画人同士の知見の共有を図る「鍋講座」が「脚本編」や「ラテン・アメリカ」についてなど新たな視点を導入し、動員も着実に増え続けるなど、より発展的な形で継続しました。

Motion Gallery と提携してのクラウドファンディングにおいては、これまでクラウドファンディングを行なった会員の経験をシェアし支え合うネットワークを構築するなどサポート体制を充実させてきました。本年度は、松原保監督『被ばく牛と生きる』、映像製作競技会「ムービスピック」、我妻和樹監督『願いと揺らぎ』、佐藤快磨監督『歩けない僕らは』、玉田真也監督『あの日々の話』、堤真矢監督『パラレルワールド・シアター』といった長編作品のクラウドファンディングをサポートし、現在も継続中です。

上述の鍋講座も、前年から引き続きほぼ月一回のペースを維持しながら、多彩なゲストをお招きしその知見の共有に努めました。また、今年度は東京以外の地域との連携も積極的に試みられたことが特色で、京都で立命館大学映像学部、京都府京都文化博物館、関西次世代映画ショーケース実行委員会との共催で行われた「地域から次世代映画を考える:制作者の視点、上映者の視点」や大阪アジア映画祭との連携企画「アジアに映画は足りているか? 関西から考える映画の一極集中」が開催され、有意義な議論を重ねることができた。また、恒例となりつつある東京国際映画祭との提携企画では、映画鍋としては初めての学生向けの企画として「映画業界本音ガイダンス 2017 ～現場ってホントはどんなところ?～」が開催され反響を呼んだ。

これらの鍋講座の成果は、webを通じて公共性の高い資料としてシェアされました。

独立映画鍋の重要な目標のひとつには、認定 NPO になり寄付税制を利用して、映画業界への寄付の大きな窓口となることがあります。認定 NPO 認証に向けて、認証後の活動をイメージしながら、それに止まらないより広範な問題意識をベースに、発展的に土台を固めることができたのではないかと考えています。

最後に、今年度はこれまで継続してきた活動を持続的に発展させることになりましたが、新たなメンバーも増え、今後はこれまで継続課題となっていた種々の目標の実現に向け、体制を模索し意識を新たにしていくなための重要な年になったのではないかと思います。

共同代表 土屋 豊

共同代表 深田 晃司

<会員数> ※2018年6月現在

・賛助会員(個人)=216名・賛助会員(団体)=6団体・正会員=10名 ★映画鍋会員 計.232名

2、事業実施に関する事項

(1) インディペンデント映画製作、配給、上映支援事業

2017年度は6つの資金調達プロジェクトが立ち上がり、その多くが目標金額を達成した。

若手からベテラン、また異業種からの映画監督への挑戦など多様な作品が並び、また製作だけではなく上映企画もあり、文化としてのクラウドファンディングが普及しつつあることを実感する。「役立つ情報」については、新しく3件、全30の情報を更新した。

【実施概要】

1) 資金調達プロジェクト（企画者名、コレクター数、合計金額）

- ・『被ばく牛と生きる』（松原保監督、156人、1,896,000円）
- ・「ムービンピック」映像製作競技会（ムービンピック実行委員会、12人、65,000円）
- ・『願いと揺らぎ』（我妻和樹監督、84人、806,000円）
- ・『歩けない僕らは』（登山里沙プロデューサー、76人、816,333円）
- ・『あの日々の話』（玉田真也監督、93人、900,000円）
- ・『パラレルワールド・シアター』（堤真矢監督、102人、1,285,000円）

2) 役立つ情報 ※新しく更新したもの

<その他>

地域から次世代映画を考える 第1部「映画はどこでもつくれる！か？～地方で映画を作るわけ～」

記録動画 *会員限定 (2018.1.27)

「鍋講座 vol.36 映画人よ、ラテンアメリカを見よ！～これからの「持続可能」な独立映画製作を考える～」

記録動画 *会員限定 (2018.2.28)

大阪アジア映画祭連携企画 記録動画 *会員限定 (2018.3.17)

(2) インディペンデント映画振興、教育事業

勉強会「鍋講座」を全4回開催。映画祭、翻訳、脚本、国際と多岐のテーマに渡るラインナップとなった。「インディペンデント映画と映画祭～TIFF&FILMeX～」では、東京国際映画祭とFILMeXの日本を代表する二つの映画祭のプログラマーをお招きし映画祭の意義と役割を伺い、この回がきっかけとなり、この年に初めて映画鍋とFILMeX連携のイベントが開催されることとなった。「翻訳編」では、映画鍋の正会員でもある赤松立太さんをお招きし、普段映画関係者でもあまり知られない映像翻訳の世界をシェアしつつ、他言語翻訳に限らないバリアフリーのための字幕などその多様な役割へと話が及ぶこととなった。「脚本編」は、これまで行政や映画の現場のこと、あるいは法律関係の内容が中心であった鍋講座において、よりクリエイティブな側面の強い内容で、過去最高クラスの集客となった。ラテン・アメリカ編で、映画鍋ではこれまでフランス、韓国、インドネシアなどの他国の映画の状況から学び日本の現状を相対化してきたが、今回は初めてのラテン・アメリカ編ということもあり多くの知見があり、ゲストの比嘉世津子さんの快活なキャラクターと相まって、印象深い会となった。また、例年通り東京国際映画祭との連携を継続しつつ、今年度はFILMeX、大阪アジア映画祭とも初めて連携しイベントを行い、また釜山映画祭のプラットフォーム釜山にも映画鍋として複数メンバーが参加、加え、京都の大学や映画人たちと共催による企画が行われるなど、地域との連携を深めた年でもあった。

【実施概要】

(1)鍋講座

・【鍋講座 vol.33】 インディペンデント映画と映画祭～TIFF&FILMeX～

日時:2017年4月19日(水)

<ゲスト> 矢田部吉彦 市山尚三 司会:深田晃司 歌川達人

・【鍋講座 vol.34】 映像翻訳の最前線～良い字幕って何だ！？～

日時:2017年5月24日(水)

<ゲスト> 赤松立太 司会:土屋 豊

・【鍋講座 vol.35】 インディペンデント映画の脚本ってなんだ？

日時:2017年9月6日(水)

<ゲスト> 高橋泉(脚本家) 向井康介(脚本家) 高橋洋(脚本家) 司会:船橋淳(映画監督)

・【鍋講座 vol.36】映画人よ、ラテンアメリカを見よ！ ～これからの「持続可能」な独立映画製作を考える～

日時:2018年2月28日(水)

<ゲスト>比嘉世津子 聞き手:植山英美

(2)その他イベント

・第30回東京国際映画祭 連携企画【映画業界本音ガイダンス2017 ～現場ってホントはどんなところ？～】

日時:2017年10月30日(月) 会場:ランデック六本木5F カンファレンスルーム5A

<ゲスト>戸山剛(映画プロデューサー):伊野瀬優(助監督):金沢明(車両部):小笠原翔(助監督):川原杏奈(大学院生):上本聡(映画監督・プロデューサー 独立映画鍋会員):司会:深田晃司(映画監督)

・第18回東京フィルメックス 連携企画『インディペンデント映画ってなんだ！？』

日時:2017年11月18日(土) 会場:東京国際フォーラムガラス棟 G7F・G701 室

<ゲスト>内田伸輝(映画監督)、庭月野議啓(映画監督)、五十嵐耕平(映画監督)、聞き手:深田晃司(映画監督)、市山尚三(映画祭プログラマー) 司会:土屋豊(映画監督)

・立命館大学映像学部創立10周年記念事業 地域から次世代映画を考える:制作者の視点、上映者の視点

日時:2018年1月27日(土)

<ゲスト> 酒井健宏(映画監督)、佐藤零郎(映画監督)、香西志帆(映画監督)、塩崎祥平(映画監督)、福永信(小説家)、土田環(早稲田大学基幹理工学部・研究科専任講師)、松村厚(映画宣伝)、山崎紀子(シネ・ヌーヴォ[大阪]支配人)、林未来(元町映画館[神戸]支配人)、吉田由利香(京都みなみ会館支配人)、田中誠一(出町座[京都]支配人)、司会:歌川達人(ドキュメンタリー映画監督)、川村健一郎(立命館大学映像学部教授)

・大阪アジア映画祭連携企画 トークセッション「アジアに映画は足りているか？ 関西から考える映画の一極集中」

日時:2018年3月17日(土)

<ゲスト>川村健一郎(立命館大学映像学部教授)歌川達人(ドキュメンタリー映画監督)リム・カーワイ(映画監督)、深田晃司(映画監督)

活 動 計 算 書

[税込] (単位: 円)

特定非営利活動法人独立映画鍋

自 平成29年 4月 1日 至 平成30年 3月31日

【経常収益】			
【受取会費】			
正会員受取会費	100,000		
賛助会員受取会費	784,000	884,000	
【受取助成金等】			
受取助成金 (大阪コミュニティ財団)		100,000	
【事業収益】			
事業 収益 (講座の開催)		721,900	
【その他収益】			
受取 利息 (ゆうちょ銀行 普通貯金)	9		
雑 収 益 (短期借入金 債務免除/藤岡朝子)	4,086,437	4,086,446	
経常収益 計			5,792,346
【経常費用】			
【事業費】			
(人件費)			
人件費計	0		
(その他経費)			
諸 謝 金 (監事報酬、講座講師料など)	304,706		
印刷製本費(事業) (チラシなど)	151,558		
会 議 費(事業) (講座会場費など)	422,439		
旅費交通費(事業) (立命館企画)	87,490		
通信運搬費(事業)	82		
消耗品 費(事業) (封筒など)	35,809		
租税 公課(事業)	1,050		
支払手数料(事業) (振込手数料、経理コンサル料)	46,656		
その他経費計	1,049,790		
事業費 計		1,049,790	
【管理費】			
(人件費)			
人件費計	0		
(その他経費)			
印刷製本費 (コピー代)	810		
通信運搬費 (電話、宅急便など)	161,961		
消耗品 費 (会計王ソフト)	40,330		
広告宣伝費 (サーバー代)	43,092		
接待交際費 (講座 打上げ補助)	13,500		
支払手数料 (振込手数料、経理入力料)	94,704		
その他経費計	354,397		
管理費 計		354,397	
経常費用 計			1,404,187
当期経常増減額			4,388,159
【経常外収益】			
経常外収益 計			0
【経常外費用】			
経常外費用 計			0
税引前当期正味財産増減額		4,388,159	
当期正味財産増減額		4,388,159	
前期繰越正味財産額		△ 3,105,046	
次期繰越正味財産額		1,283,113	

特定非営利活動に係る事業会計損益計算書

特定非営利活動法人独立映画館

【税込】(単位:円)

全事業所

自 平成29年 4月 1日 至 平成30年 3月31日

【経常収益】			
【受取会費】			
正会員受取会費	100,000		
賛助会員受取会費	784,000		
【受取助成金等】			
受取助成金(大阪コミュニティ財団)	100,000		
【事業収益】			
事業収益(講座の運営)	721,900		
【その他収益】			
受取利息(ゆうちょ銀行 普通貯金)	9		
雑収益(短期借入金 債務免除/藤岡朝子)	4,086,437		
経常収益計		5,792,346	
【経常費用】			
【事業費】			
(人件費)			
人件費計	0		
(その他経費)			
諸謝金(監事報酬、講座講師料など)	304,706		
印刷製本費(事業)(チラシなど)	151,558		
会議費(事業)(講座会場費など)	422,439		
旅費交通費(事業)(立命館企画)	87,490		
通信運搬費(事業)	82		
消耗品費(事業)(封筒など)	35,809		
租税公課(事業)	1,050		
支払手数料(事業)(振込手数料、経理コンサル料)	46,656		
その他経費計	1,049,790		
事業費計		1,049,790	
【管理費】			
(人件費)			
人件費計	0		
(その他経費)			
印刷製本費(コピー代)	810		
通信運搬費(電話、宅急便など)	161,961		
消耗品費(会計王ソフト)	40,330		
広告宣伝費(サーバー代)	43,092		
接待交際費(講座 打上げ補助)	13,500		
支払手数料(振込手数料、経理入力料)	94,704		
その他経費計	354,397		
管理費計		354,397	
経常費用計		1,404,187	
当期経常増減額		4,388,159	
【経常外収益】			
経常外収益計		0	
【経常外費用】			
経常外費用計		0	
税引前当期正味財産増減額		4,388,159	
当期正味財産増減額		4,388,159	
前期繰越正味財産額		△ 3,105,046	
次期繰越正味財産額		1,283,113	

貸借対照表

特定非営利活動法人独立映画鍋
全事業所

【税込】（単位：円）
平成30年 3月31日 現在

		《資産の部》	
【流動資産】			
（現金・預金）			
普通預金（ゆうちょ銀行）	1,291,600		
現金・預金計	<u>1,291,600</u>		
流動資産合計		1,291,600	
資産の部 合計			<u>1,291,600</u>
		《負債の部》	
【流動負債】			
預り金（所得税・復興所得税など）	8,487		
流動負債計		<u>8,487</u>	
負債の部 合計			8,487
		《正味財産の部》	
前期繰越正味財産額	△ 3,105,046		
当期正味財産増減額	<u>4,388,159</u>		
正味財産計		<u>1,283,113</u>	
正味財産の部 合計			1,283,113
負債・正味財産合計			<u>1,291,600</u>

財 産 目 録

特定非営利活動法人独立映画鍋
全事業所

[税込] (単位: 円)
平成30年 3月31日 現在

		《資産の部》	
【流動資産】			
(現金・預金)			
普通預金(ゆうちょ銀行)	1,291,600		
現金・預金計	<u>1,291,600</u>		
流動資産合計		<u>1,291,600</u>	
資産の部 合計			<u>1,291,600</u>
			《負債の部》
【流動負債】			
預り金(所得税・復興所得税など)	8,487		
流動負債計	<u>8,487</u>		
負債の部 合計		<u>8,487</u>	<u>8,487</u>
正味財産			<u><u>1,283,113</u></u>